

事業番号	15 04 10	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交流教育推進事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S54 ~		

1 事業の概要

目指す姿	新たに示された小中学校、高等学校、特別支援学校の学習指導要領において、「交流及び共同学習」の重要性が強調される中、特別支援学校の児童生徒と幼・小・中等高等学校等の児童生徒とが活動を共にし、「仲間意識を育む」「経験を広げる」等により、社会性や豊かな人間性を育むことを目指す。		
現状	<input type="checkbox"/> 提携校との交流が減少している(H22延べ450回、H23延べ437、H24延べ408)。 <input type="checkbox"/> 提携校以外の相手先との交流及び共同学習、特に居住地校との交流及び共同学習が増加している。 (H22 延べ1,559回 H23延べ1,627回、H24延べ1,644回) <input type="checkbox"/> 交流提携校との交流において、各特別支援学校がボランティアを募集し実施しているが、その確保に苦戦している状況にある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領 特別支援学校学習指導要領	
	県民との協働による実施：可能		

事業内容	① 成果目標(H25)			
	<input type="checkbox"/> 提携校との交流延べ回数450回 : H23年度実績(延べ437回)をベースラインとし、提携校との交流延べ回数を450回に引き上げ、H22度の延べ回数に戻す。			
	② 事業内容 (単位:千円)			
		項目	実施方法	H25事業実績
				H25 (当初) (決算) H26 (当初)
	交流教育提携校との交流	直接	・各特別支援学校と幼・保・小中等高等学校で交流提携を結び、継続的・計画的な交流を実施(延べ450回)	1,417 1,080 1,195
	提携校以外の相手先との交流	直接	・提携校以外の学校との交流(居住地校交流等) ・同学年の通常の学級や特別支援学級での学習参加	
	地域ボランティアの活用	直接	・交流提携校との交流及び共同学習での地域ボランティアの活用	216 12 216
			合計	1,633 1,092 1,411

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,725	1,599	1,633	1,411
	補正予算				
	合計(A)	1,725	1,599	1,633	1,411
	国庫支出金				
	県債				
	その他()				
	一般財源	1,725	1,599	1,633	1,411
	決算額(B)	1,451	1,126	1,092	
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
概算人件費	826	826	826	826	
概算事業費(B(A)+C)	2,277	1,952	1,918	2,237	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
提携校との交流及び共同学習延べ回数	408回	450回	387回	未達成	-
交流及び共同学習の延べ回数	-	-	-	-	2,100回

目標に対する成果の状況	<input type="checkbox"/> 交流の形態や内容が多様化しており、提携校との交流は減少したが、居住地校との交流や地域にある様々な学校との交流は活発に行われ数も増加している。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・提携校との交流が行われることはもちろん、子どもたちの実態に応じて様々な学校との交流が行えるように円滑な運営を図る。 ・地域ボランティアを活用し、交流がさらに活発に行えるように体制を整える。
--------------------	---